

公安委員会	明治150年記念平成30年度全国警察柔道選手権大会及び全国警察剣道選手権大会の結果について	平成30年9月27日
説明資料No. 1		人事課

1 開催日時

平成30年9月25日（火）午前9時から午後6時ころまで

2 開催場所

日本武道館

3 大会結果（優勝選手）

(1) 柔道出場者（全体249名：男子175名、女子74名）

区分	所属	階級	氏名	年齢	備考
男	100kg超級	愛知県警察	巡査		出場4回目・初優勝
	100kg級	福岡県警察	巡査長		出場4回目・初優勝
	90kg級	警視庁	巡査		初出場・初優勝
	81kg級	福岡県警察	巡査長		出場3回目・3連覇
	73kg級	大阪府警察	巡査		出場2回目・初優勝
子	66kg級	警視庁	巡査		出場2回目・初優勝
	60kg級	愛媛県警察	巡査長		出場4回目・初優勝
女	70kg超級	大阪府警察	巡査		出場2回目・初優勝
	70kg級	沖縄県警察	巡査長		出場3回目・初優勝
	63kg級	大阪府警察	巡査		出場3回目・初優勝
	52kg級	警視庁	巡査		初出場・初優勝

(2) 剣道出場者（全体195名：男子107名、女子88名）

区分	所属	階級	氏名	年齢	備考
男子	熊本県警察	巡査部長			出場7回目・初優勝
女子	神奈川県警察	巡査			出場4回目・初優勝

4 今後の大会予定

- (1) 10月22日（月） 明治150年記念平成30年度全国警察柔道大会
- (2) 10月23日（火） 明治150年記念平成30年度全国警察剣道大会
- (3) 11月16日（金） 平成30年度全国警察逮捕術大会及び全国警察拳銃射撃競技大会

公安委員会 説明資料No. 2	「全国犯罪被害者支援フォーラム2018」 の開催について	平成30年9月27日 給与厚生課
----------------------------------	---	-----------------------------------

1 開催の趣旨

本フォーラムは、犯罪被害者支援に携わる関係機関及び民間被害者支援団体の関係者が参加し、講演やパネルディスカッション等を通じて、犯罪被害者支援のための知識の向上や緊密な連携の強化を図ることなどを目的に毎年秋に開催（今回で23回目）。

本年度は、全国犯罪被害者支援ネットワーク創立20周年に当たることから、「被害者支援のあゆみと、これからの支援に向けて」をテーマに選定。

※ 警察庁、公益社団法人全国被害者支援ネットワーク、日本被害者学会、公益財団法人犯罪被害救援基金が主催

2 日時、会場

平成30年10月12日（金） 午後1時00分から午後5時10分まで
イイノホール（東京都千代田区内幸町2丁目 飯野ビル）

3 来賓、参加者

国家公安委員会委員長、日本弁護士連合会会長

参加者～約500人（国・都道府県の行政機関、民間被害者支援団体、学識経験者、弁護士、精神科医、臨床心理士等）

4 プログラム概要

(1) 犯罪被害者支援功労者・功労団体等表彰

多年にわたり犯罪被害者支援活動に尽力し、多大な功労があったと認められる民間被害者支援団体、犯罪被害相談員等に対して、警察庁長官と全国被害者支援ネットワーク代表者との連名表彰等を実施。

このほか、ネットワークの創立20周年に際しての国家公安委員会委員長表彰等を実施。

(2) 講演

加藤裕司氏（被害者遺族）が、「明日に生きる」をテーマに講演。

(3) パネルディスカッション

民間被害者支援団体、弁護士、県及び警察庁担当者のパネリストが、「関係機関との連携の『これまで』と『これから』」をテーマに討議。

公安委員会 説明資料No. 3	「子供の性被害防止対策に関する世論調査」 の結果について	平成30年9月27日 少年課
--------------------	---------------------------------	-------------------

1 調査の概要

- (1) 実施主体 内閣府
- (2) 調査時期 平成30年7月19日から8月5日までの間
- (3) 調査対象 全国18歳以上の日本国籍を有する者 5,000人
有効回収数(率) 2,903人(58.1%)

2 調査結果の概要

※ (1)ア、イ、(2)イの最初の問を除き複数回答

(1) 子供の性被害に関する国民の意識と意識向上策について

ア 身近な子供が性被害に遭うかもしれないという「不安を感じる(どちらかといえばを含む)」が73.5%。その理由については、「SNS等を通じて見知らぬ人と簡単に出会えるから」(82.8%)が他の理由(35%以下)と比較して圧倒的に多い。

イ 子供の性被害について「関心がある(どちらかといえばを含む)」が76.2%。その理由については、「新聞、テレビ等で見聞きしたことがあるから」(86.2%)が多い。また、関心を高める方法については、「新聞、テレビ等での広報」(68.3%)、「学校の保護者説明会や非行防止教室等での啓発」(64.4%)が多い。

(2) インターネットによる子供の性被害を防止するための取組について

ア 家庭における取組については、「フィルタリングの設定」(59.9%)が最も多い。

イ 学校において情報モラル教育が行われていることについて「知っている」は、42.1%であったが、18歳未満の子供のいる人では52.1%。学校で必要な取組については、「具体的な手口や被害状況を取り上げて教える」(63.6%)が多い。

ウ インターネット関係事業者が行うべき取組については、子供の性被害につながる「書き込みの監視と削除」(51.2%)及び「書き込みを禁止する利用規約を作る」(49.8%)、「年齢による利用制限」(49.5%)等が多い。

(3) 相談しやすい環境の整備と支援の充実について

ア 身近な子供が性被害に遭った場合にどこ(誰)に相談するかについては、「警察」(66.0%)、「家族、親族」(45.1%)が多く、相談窓口の認知度については、「子供の人権110番」(39.3%)、「警察相談専用電話(#9110)」(30.5%)が高い。

イ 性被害に遭った子供への十分な支援を行うために力を入れるべきこととしては、「相談窓口の周知」(49.6%)、「学校の体制の充実」(47.8%)、「警察の体制の充実」(44.0%)が多い。

(4) 子供を性被害から守る社会の実現について

「国民意識の向上」(57.6%)、「相談しやすい環境の整備」(55.3%)が多い。

(5) 子供の性被害に関する犯罪を発生させないための対策について

「罰則強化」(66.8%)、「取締り強化」(62.4%)、「インターネット上の違法・有害情報削除対策強化」(59.2%)が多い。

3 今後の対応

多くの人の子供の性被害に不安を感じ、その理由としてSNSの問題を挙げ、フィルタリングの設定や学校における指導等を求める意見が多かったことを踏まえ、実効的な対策の推進に努める。

公安委員会	第49回全国白バイ安全運転競技	平成30年9月27日
説明資料No. 4	大会の開催について	交通指導課

1 大会の目的

白バイ乗務員の運転技能を向上させ、受傷事故の絶無を期するとともに、その士気の高揚を図り、もって道路交通の安全の維持に資すること。

2 開催日

平成30年10月6日（土）、7日（日）の2日間

3 開催場所

自動車安全運転センター 安全運転中央研修所
（茨城県ひたちなか市新光町605番地16）

4 大会日程及び競技種目

(1) 大会1日目（10月6日（土））

- ア 開会式
- イ バランス走行操縦競技
- ウ トライアル走行操縦競技

(2) 大会2日目（10月7日（日））

- ア 不整地走行操縦競技
- イ 傾斜走行操縦（スラローム）競技
- ウ 閉会式

5 参加選手

(1) 男性警察官の部（144名）

- ア 第1部（9都府県警察）～36名
- イ 第2部（第1部以外の道府県警察及び皇宮警察）～108名

(2) 女性警察官の部（37名）

28都道府県警察

6 表彰

(1) 男性警察官の部

- | | | |
|------|------|----------|
| ア 団体 | 第1部 | 第1位～第3位 |
| | 第2部 | 第1位～第6位 |
| イ 個人 | 個人総合 | 第1位～第10位 |
| | 各種目別 | 第1位～第3位 |

(2) 女性警察官の部

個人のみ 第1位～第3位